

岡三オンライン証券では、当社に口座をお持ちのお客さまに「岡三証券投資情報」を無料で提供しています。

岡三証券(株)企業調査部アナリストの「レーティング情報」や一週間の投資戦略に役立つ「岡三ウィークリー」を始め、数多くの投資情報をご覧いただけます。

株式相場の動きに対応したスポット情報も適時公開中です。

まだ、口座をお持ちでないお客さまは、この機会にぜひ当社で口座開設を！

✓ レーティングや各種レポートを見るには…

岡三オンライン証券に口座をお持ちでないお客さまはこちら



口座開設のご案内

岡三オンライン証券に口座をお持ちのお客さまはこちら



日本株ログイン

✓ 岡三オンライン証券公式ブログや公式twitter・Facebookもぜひご覧ください

▶ [岡三オンライントレーダーズ](#)

▶ [武部力也のFX道場](#)

▶ [吉田恒のFXの真実](#)

▶ [岡三オンライン証券 公式twitter](#)

▶ [岡三オンライン証券 公式Facebook](#)



GRC Global Technical Weekly

岡三証券がお届けする

グローバル テクニカル ウィークリー

今週のサマリー

■ 日経平均やH株指数は持ち合い上げの動きから上値試しの展開に

昨年末にかけての欧米株の上昇に対して、日本株や香港株には出遅れ感が強まっていたが、今年1月以降、上昇を示唆する動きが強まってきた。日経平均は売り買いのバランスが均衡する持ち合いの局面から、上値試しの動きへと変化してきている。日経平均の価格帯別売買代金などで今後の動きを考えた。

日経平均は8,800~9,400円のレンジ相場に

小型の建設株の時価総額は増加ピッチが鈍化、
選別が必要な局面に

H株指数は戻りを試す展開に

SENSEX指数 200日線越えが方向転換のシグナルに

2012年2月1日号

投資戦略部 テクニカル分析グループ

① 日本株

○ 日経平均は8,800～9,400円のレンジ相場に

日経平均は今年1月前半にかけて三角持ち合いの状況であったが、その持ち合いの状況が上方に振れたことから、目先の値上り試みの動きが続きそうだ。

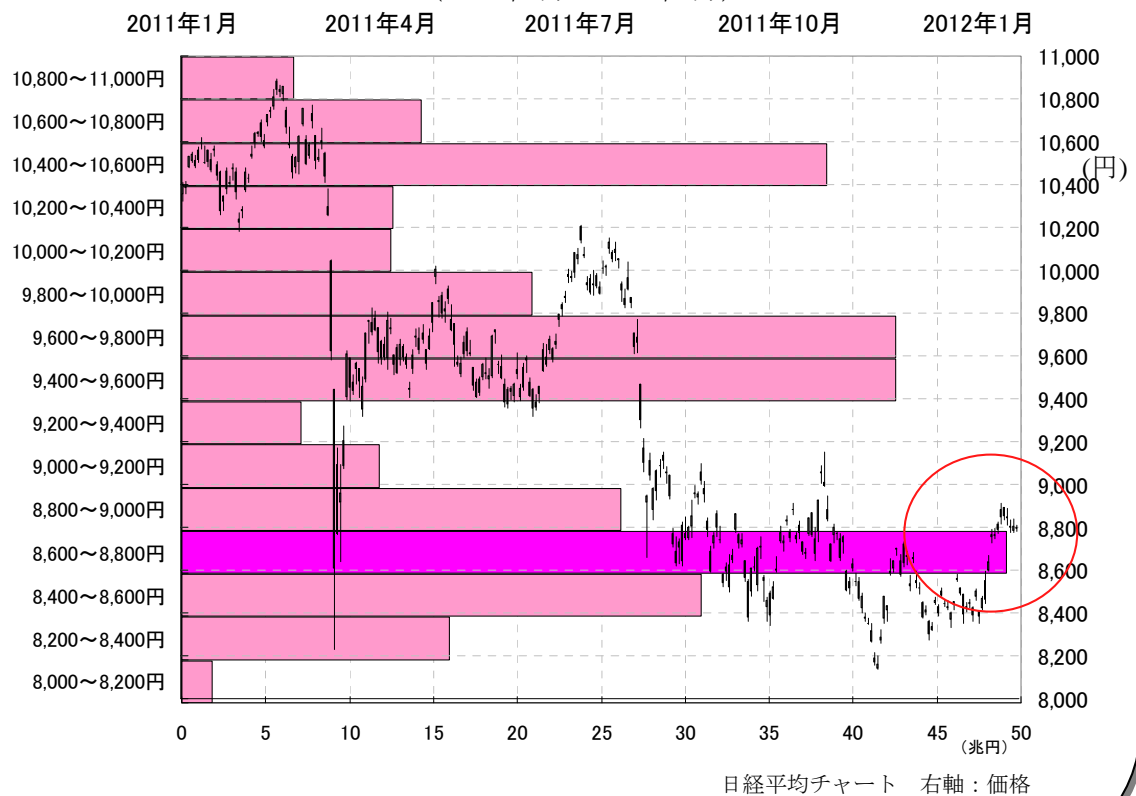
今後の値上りを考える際に節目として意識されるのが、200日線（1月31日時点で9,086円）や10月高値である9152.39円などだろう。これらの水準を上抜けば、日経平均の価格帯別売買代金（下図）でみて9,400円水準までは戻り待ちの売り圧力が少なくなるため、同水準の回復に向けて上昇の勢いが高まる可能性が指摘できる。

一方で下値は2011年1月以降の価格帯別売買代金の推移でみて、売り圧力が多かった水準（8,600～8,800円）を上抜いていることで、8,800円近辺がサポートとなる可能性がある。

こうした価格帯別売買代金の水準から考えると、今後、日経平均は8,800～9,400円の価格帯で推移して上昇トレンド転換に向けた足場固めの動きをみせることとなりそうだ。

日経平均の価格帯別売買代金

（2011年1月～2012年1月）



○ 小型の建設株の時価総額は増加ピッチが鈍化、
選別が必要な局面に

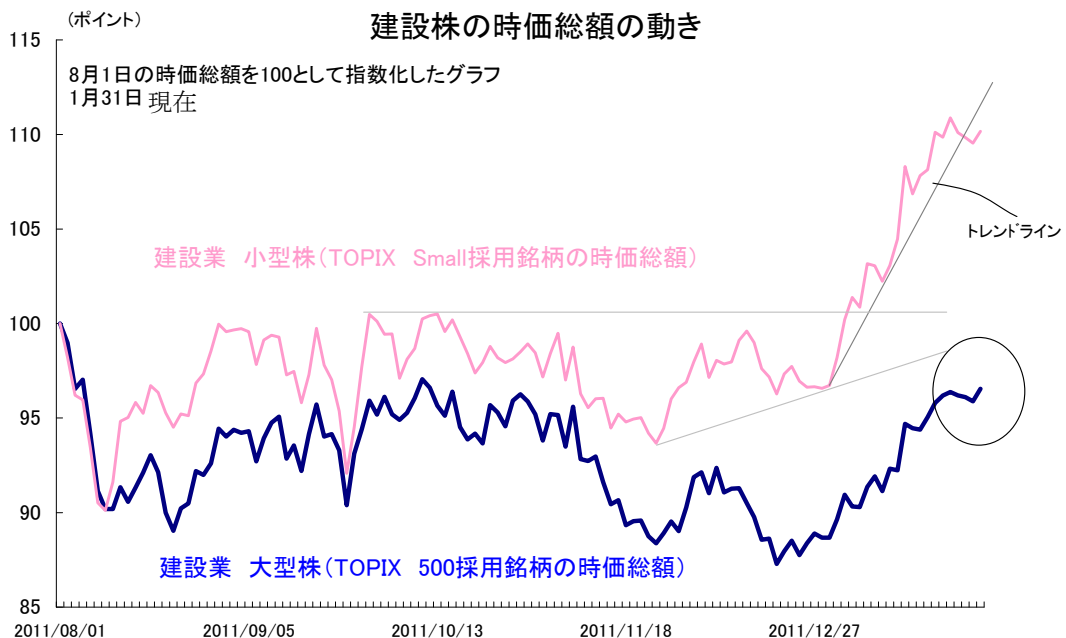
東日本大震災の復興需要や老朽化している高速道路等のインフラ更新需要への期待感などから建設株への物色人気が高まっている。

以下では、東証1部・建設業に属する銘柄の時価総額の推移をTOPIXニューインデックスの区分を参考に大型株と小型株に区分して、示した。

これをみると、建設株の中でも小型株（TOPIX Smallに属する建設株）への評価が、今年に入って特に高まったことが窺い知れる。テクニカル的に考えると、レジスタンスとして意識されてきた水準を越えてきたことで新しいトレンドが発生したと捉える

ことが出来る。但し注意したいのは1月の月末にかけて年初から続いてきた建設・小型株の時価総額増加の勢いが衰えてきていることだ。個別には短期急騰後の反動安の懸念が高まっている銘柄もあろう。銘柄を選別して挑むことが重要な局面になっているとみられる。

一方で建設業・大型株の時価総額は足元で昨年10月の水準を上回ってきていることに注目したい。復興や橋梁などのテーマに加えて、LNGに関連する銘柄などもあって、そうしたテーマをもとに評価が高まっているようだ。



・ TOPIX500に採用されている建設業の銘柄

1721 コムシスホールディングス	1808 長谷工コーポレーション	1878 大東建託	1944 きんでん
1801 大成建設	1812 鹿島建設	1911 住友林業	1951 協和エクシオ
1802 大林組	1833 奥村組	1925 大和ハウス工業	1963 日揮
1803 清水建設	1860 戸田建設	1928 積水ハウス	6366 千代田化工建設

※ 2月1日 大東建託は貸株申込停止銘柄

② 日本株需給

■ 現物

- 海外投資家は4週連続の買い越し

① 投資主体者別取引状況 三市場 現物〔金額〕

出所:ASTRA、単位:億円

	個人	海外投資家	証券会社	金融機関	投資信託	事業法人	その他法人等
12月第3週	▲ 65	▲ 287	▲ 2	▲ 18	1	342	247
12月第4週	▲ 577	862	▲ 33	138	280	176	165
1月第1週	▲ 611	493	▲ 44	▲ 77	77	39	30
1月第2週	▲ 504	1,535	▲ 18	▲ 247	▲ 10	143	70
1月第3週	▲ 2,057	2,132	▲ 85	▲ 284	▲ 274	▲ 40	48

※東京・大阪・名古屋3市場の1・2部と新興企業向け市場合計で、売り買い差し引きの金額、▲は売り越し。
億円未満は四捨五入

■ 先物

- 海外投資家は4週連続で現物+先物合計でも買い越しに

② 投資主体者別取引状況(日経225先物)〔金額〕

出所:大証HP、単位:億円

	個人	海外投資家	証券会社	金融機関	投資信託	事業法人	その他法人等
12月第3週	101	▲ 49	▲ 4	209	113	▲ 3	18
12月第4週	▲ 97	▲ 279	0	▲ 163	146	▲ 58	▲ 10
1月第1週	70	▲ 429	4	▲ 73	▲ 20	50	13
1月第2週	▲ 304	122	▲ 16	▲ 239	▲ 48	▲ 59	▲ 25
1月第3週	▲ 351	588	▲ 15	▲ 303	▲ 211	3	▲ 15

③ 投資主体者別取引状況(TOPIX先物)〔金額〕

出所:東証HP、単位:億円

	個人	海外投資家	証券会社	金融機関	投資信託	事業法人	その他法人等
12月第3週	▲ 1	▲ 421	380	60	▲ 11	▲ 0	▲ 2
12月第4週	▲ 4	▲ 236	93	49	96	▲ 0	2
1月第1週	▲ 12	671	▲ 666	▲ 37	39	0	▲ 0
1月第2週	9	226	▲ 299	72	▲ 3	0	▲ 0
1月第3週	7	640	▲ 665	74	▲ 52	0	▲ 4

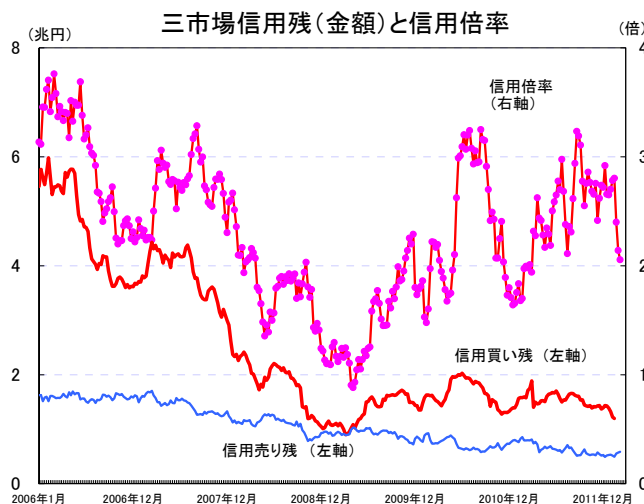
④ 投資主体者別取引状況(現物+先物)〔金額〕:①~③の合計

	個人	海外投資家	証券会社	金融機関	投資信託	事業法人	その他法人等
12月第3週	34	▲ 757	373	251	103	338	263
12月第4週	▲ 678	347	60	23	522	118	157
1月第1週	▲ 552	735	▲ 706	▲ 187	96	89	43
1月第2週	▲ 799	1,883	▲ 333	▲ 414	▲ 62	83	45
1月第3週	▲ 2,401	3,361	▲ 764	▲ 513	▲ 537	▲ 37	28

※ここでの先物とは、大証で取引されている日経225先物(ラージ)および、東証のTOPIX先物のこと。
TOPIX先物は株価指数先物、東証業種別先物、TOPIX Core30先物の合計。 億円未満は四捨五入、▲は売り越し

■ 信用残動向

買い残は6週連続の減少、売り残は4週連続の増加



※ 三市場とは東京、大阪、名古屋の三市場を指す。
三市場上場の株券および優先出資証券及び投資受益証券の金額ベースでの信用取引(制度信用と一般信用の合計の値)残高
信用倍率は、金額ベースで売り残高に対する買い残高の倍率を示した。東証HPより岡三証券作成、データは1月27日まで

1月27日申し込み時点の信用買い残は6週連続で減少し、1兆1975億円と前週と比較して223億円減った。水準的には2009年5月29日の1兆1950億円以来、約2年8カ月ぶり低水準となった。

一方で信用売り残は4週連続で増加し、前週比129億円増の5829億円であった。

先週は日経平均が一時、3カ月ぶりに8900円台に乗せたが、相場の戻りを待っていた投資家の売りも出たことが買い残の減少に繋がったようだ。

■ 低信用倍率銘柄

日経225採用銘柄で前週に比べて、売り残が増加している銘柄の中から信用倍率1倍以下銘柄を以下にピックアップした。(1/27時点)

データはQUICKより

銘柄名	信用倍率(倍)	信用買い残(株)	前週比(株)	信用売り残(株)	前週比(株)
9202 ANA	0.84	8,812,000	-503,000	10,538,000	245,000
7011 三菱重	0.79	5,808,000	-1,542,000	7,355,000	607,000
6301 コマツ	0.87	4,903,000	-1,175,700	5,619,600	915,300
7202 いすゞ	0.71	3,893,000	-347,000	5,520,000	328,000
5631 日製鋼	0.30	1,645,000	-55,000	5,496,000	268,000
5711 三菱マ	0.92	4,175,000	-67,000	4,517,000	256,000
6472 NTN	0.52	1,749,000	-10,000	3,379,000	992,000
7267 ホンダ	0.54	1,780,700	-103,100	3,296,400	88,200
6305 日立建	0.73	2,130,900	-185,400	2,914,500	262,900
9531 東ガス	0.32	859,000	-646,000	2,712,000	922,000
7270 富士重	0.71	1,531,000	-40,000	2,147,000	143,000
6471 日精工	0.97	1,812,000	-161,000	1,862,000	40,000
6841 横河電	0.22	369,000	-28,800	1,652,700	58,100
6302 住友重	0.73	1,190,000	-397,000	1,638,000	16,000
9062 日通	0.53	835,000	-130,000	1,582,000	231,000
8802 菱地所	0.81	1,237,000	-100,000	1,521,000	112,000
4902 コニカミルタ	0.71	1,078,000	-153,000	1,514,000	242,000
9009 京成	0.14	218,000	-18,000	1,512,000	33,000
7731 ニコン	0.33	489,500	-103,700	1,468,500	190,700
8801 三井不	0.80	1,114,000	-342,000	1,397,000	312,000

手数料およびリスクについての重要な注意事項

<有価証券や金銭のお預りについて>

株式、優先出資証券等を当社の口座へお預けになる場合は、1年間に3,150円（税込み）の口座管理料をいただきます。加えて外国証券をお預けの場合には、1年間に3,150円（税込み）の口座管理料をいただきます。ただし、当社が定める条件を満たした場合は当該口座管理料を無料といたします。

なお、上記以外の有価証券や金銭のお預りについては料金をいたしません。さらに、証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じて、1銘柄あたり6,300円（税込み）を上限として口座振替手数料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<株 式>

株式の売買取引には、約定代金に対し、最大1.2075%（税込み）（手数料金額が2,625円を下回った場合は2,625円（税込み））の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.2075%（税込み）の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

外国株式の売買取引には、約定代金に対し、最大1.3125%（税込み）の売買手数料をいただきます。

※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します（外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません）。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

- ・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。

<債 券>

債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

- ・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・また、元本・利子の支払いの滞りおよび支払い不能が生じるおそれがあります。

<個人向け国債>

個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます（変動10年：直前2回分の各利子（税引前）相当額×0.8、固定5年：直前4回分の各利子（税引前）相当額×0.8、固定3年：直前2回分の各利子（税引前）相当額×0.8）。

- ・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ではありますが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

<転換社債型新株予約権付社債（転換社債）>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.05%（税込み）（手数料金額が2,625円を下回った場合は2,625円（税込み））の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

<投資信託>

投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。

- ・お申込時に直接ご負担いただく費用：お申込手数料（お申込金額に対して最大4.20%（税込み））
- ・保有期間中に間接的にご負担いただく費用：信託報酬（信託財産の純資産総額に対して最大年率2.197%（税込み））
- ・換金時に直接ご負担いただく費用：換金手数料（お申込金額に対して1口当り最大3.0%）
また、信託財産留保金（換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%）
- ・その他の費用：監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品毎に費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません（外国投資信託の場合も同様です）。
- ・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・上記記載の手数料等の費用の最大値は今後変更される場合があります。

<信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.2075%（税込み）（手数料金額が2,625円を下回った場合は2,625円（税込み））の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託証拠金は、売買代金の30%以上で、かつ300万円以上の額が必要です。信用取引では、委託証拠金の約3.3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

○金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。当該金融商品の取引契約をされる場合、その金融商品の「契約締結前交付書面」（もしくは目論見書）または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

○この資料は岡三証券が信頼できると判断した情報に基づいて作成されたものですがその情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、資料中の記載内容、数値、図表等は、本資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本資料に記載されたいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。

○岡三証券およびその関係会社、役職員が、この資料に記載されている証券もしくは金融商品について自己売買または委託売買取引を行う場合があります。

○自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号
加入協会：日本証券業協会

（平成22年6月現在）

取り扱い金融商品に関する留意事項

- 商号：岡三オンライン証券株式会社/金融商品取引業者関東財務局長(金商)第52号
- 加入協会：日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会
- リスク：【株式等】株価変動による値下りの損失を被るリスクがあります。信用取引、先物取引、オプション取引および株価指数証拠金取引では投資金額(保証金・証拠金)を上回る損失を被る場合があります。株価は、発行会社の業績、財務状況や金利情勢等様々な要因に影響され、損失を被る場合があります。投資信託、不動産投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等は、裏付け資産の評価額(指数連動型の場合は日経平均株価・TOPIX等)等、先物取引、オプション取引および株価指数証拠金取引は対象指数等の変化に伴う価格変動のリスクがあります。外国市場については、為替変動や地域情勢等により損失を被る場合があります。上場新株予約権証券は、上場期間・権利行使期間が短期間の期限付きの有価証券であり、上場期間内に売却するか権利行使期間内に行使しなければその価値を失い、また、権利行使による株式の取得には所定の金額の払込みが必要です。株価指数証拠金取引では建玉を保有し続けることにより金利相当額・配当相当額の受け払いが発生します。【FX】外国為替証拠金(保証金)取引は預託した証拠金(保証金)の額を超える取引ができるため、対象通貨の為替相場の変動により損益が大きく変動し、投資元本(証拠金)を上回る損失を被る場合があります。外貨間取引は、対象通貨の対円相場の変動により決済時の証拠金授受の額が増減する可能性があります。対象通貨の金利変動等によりスワップポイントの受取額が増減する可能性があります。ポジションを構成する金利水準が逆転した場合、スワップポイントの受取から支払に転じる可能性があります。為替相場の急変時等に取引を行うことができず不測の損害が発生する可能性があります。【各商品共通】システム、通信回線等の障害により発注、執行等ができず機会利益が失われる可能性があります。
- 保証金・証拠金：【信用】最低委託保証金30万円が必要です。信用取引は委託保証金の額を上回る取引が可能であり、取引額の30%以上の委託保証金が必要です。【先物・オプション】発注必要証拠金および最低維持証拠金は、「(SPAN証拠金額×当社が定める掛け目)ーネットオプション価値の総額」とし、選択取引コース・取引時間によって掛け目は異なります。当社のWebサイトをご確認ください。また、変更の都度、当社のWebサイトに掲載いたします。【株価指数証拠金取引】発注証拠金(必要証拠金)は、株価指数ごとに異なり、取引所により定められた証拠金基準額となります。同取引所は毎週の第一取引日を算出日として、翌週の取引日に適用される証拠金基準額を算出し、公表します。Webサイトで最新のものをご確認ください。【FX】発注証拠金(必要保証金)は、取引所FXでは取引所が定める証拠金基準額に選択レバレッジコースに応じた所要額を加えた額とし、店頭FXでは取引額の4%とします。発注証拠金に対して1取引単位(1万又は10万通貨)の取引が可能です。発注証拠金・取引単位は通貨ごとに異なります。取引所FXの為替証拠金基準額は、取引所により毎週の最終の取引日から遡る5取引日における取引所為替証拠金取引の為替清算価格の平均値に基づき毎週算出されます。Webサイトで最新のものをご確認ください。
- 手数料等諸費用の概要(表示は税込)：【日本株】取引手数料には1注文の約定代金に応じたワンショットと1日の合計約定代金に応じた定額プランがあります。上限手数料は、現物ではワンショットが1,260円、定額プランが約定代金100万円以下で上限780円、以降約定代金100万円ごとに420円加算、また、信用ではワンショットが400円、定額プランが約定代金200万円以下で上限が630円、以降約定代金100万円ごとに315円加算します。手数料プランは変更可能です。信用取引手数料は月間売買実績により段階的減額があります。信用取引には金利、管理費、権利処理等手数料、品貸料、貸株料の諸費用が必要です。【上場新株予約権証券】日本株現物のワンショットに準じます。【中国株】国内取引手数料は約定金額の1.05%(最低手数料5,250円)。この他に香港印紙税、取引所手数料、取引所税、現地決済費用の諸費用が必要です。【先物】取引手数料は、日経平均株価先物が1枚につき315円(取引枚数により段階的減額あり)、日経225miniが1枚につき42円です。【オプション】売買手数料は、約定代金に対して0.168%、最低210円です。【株価指数証拠金取引】取引手数料は、1枚につき157円です。【投資信託】お申込みにあたっては、当該金額に対して最大3.675%の申込手数料をいただきます。換金時には基準価額に対して最大0.75%の信託財産留保金をご負担いただく場合があります。信託財産の純資産総額に対する信託報酬(最大2.4525%(年率))、その他の費用を間接的にご負担いただきます。また、運用成績により成功報酬をご負担いただく場合があります。詳細は目論見書をご確認ください。【FX】取引所FX通常コースの取引手数料は1取引単位あたり100円(取引枚数により段階的減額あり)です。1倍コースでは1取引単位あたり1,050円です。店頭FXは無料です。スプレッドは、通貨ごとに異なり、為替相場によって変動します。Webサイトで最新のものをご確認ください。
- お取引の最終決定は、契約締結前交付書面、目論見書等およびWebサイト上の説明事項等をよくお読みいただき、ご自身の判断と責任で行ってください。